

< その他、取組に特徴のある事例 >

## 地域で取り組む「ふるさと」づくり

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	石川県鹿島郡中能登町 春木				
協定面積 8.07ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地	
交付金額 98.8万円	個人配分			50%	
	共同取組活動 (50%)	集落の各担当者の活動に対する経費			8%
		将来像を実現するための活動に対する経費			3%
		水路、農道等の維持管理等に要する経費			7%
		農用地の維持・管理活動を行うものに対する経費			17%
交付金の積立・繰越(農道補修)			15%		
協定参加者	農業者7人、農事組合法人1(構成員8人)				

### 2. 取組の経緯

春木集落は、中能登町の北西部に位置し、丘陵地帯に囲まれた邑知地溝帯の中を開けた中山間地域で、地域内に多くの里山が点在する集落である。

耕地面積46haのうち水田が93%を占める水稲単作地帯であるが、近年、水田転作園芸作物が積極的に振興され、白ねぎ、かぶ、かぼちゃなどが作付けられている。

当集落でも農業従事者の高齢化や後継者不足が進展しており、それらによる農地の荒廃を懸念し、平成12年度から中山間地域等直接支払事業を実施しており、耕作放棄地の解消や景観維持を図るとともに、住民が一体となり、豊かな「ふるさと」づくりに努めている。

### 3. 取組の内容

定期的な農道や水路管理、周辺林地の草刈り等による農業生産活動のほか、担い手を中心となって高付加価値型農業の取組みを行っている。

また、地元農家などと連携して行っている法面崩壊防止のための「カバープランツ事業」や、自然生態系の保全に関する取組みとして、地区内のため池や水路などを対象とした「生き物調査」を実施し、次世代に農業や自然の大切さを伝える活動も行っている。



カバープランツ事業



生き物調査

[ 集落の将来像 ]

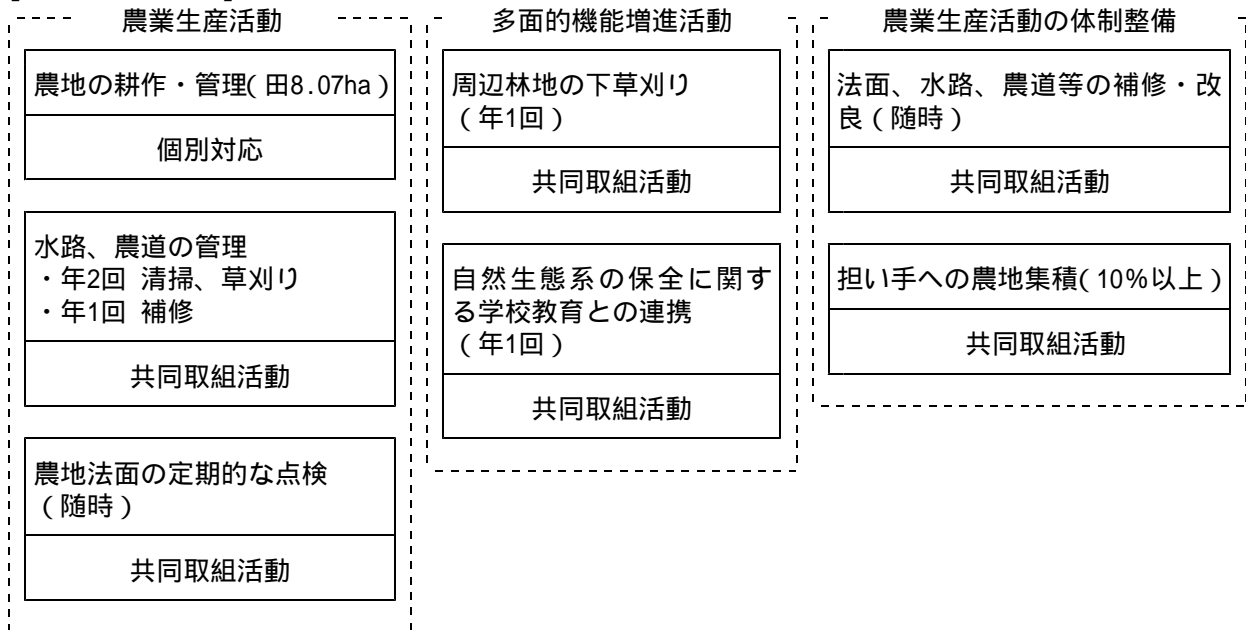
核となる集積対象者を育成し、当該集積対象者への農用地の集積  
担い手と集落内の高齢農家等との有機的連携



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

担い手への農用地の集積、集落の高齢農家や小学校との連携を進めるとともに、高付加価値型農業を推進するための体制整備を行い、集落の活性化を図る。

[ 活 動 内 容 ]



4. 取組による変化と今後の課題等

担い手への農用地集積が進むにつれ非農家層が増えており、これまでの伝統的なコミュニケーションが希薄になり、住民の農村への帰属意識が薄れる傾向がある。

今後とも、環境保全型農業を基軸とし、地域住民との「ふれあいの場」を創造しながら、「ふるさと」づくりを推進していく。

[ 平成20年度までの主な成果 ]

担い手への農地集積(当初0ha、目標0.85ha、H20実績3.19ha)  
自然生態系の保全に関する学校教育との連携  
・地元高齢者や小学生との「生き物調査」(当初0回、目標1回、実績1回)